

〈令和 5 年度以降入学者用〉

- (7-1) 教職課程の概要（令和 5 年度以降入学者）
- (7-2) 「教育の基礎的理解に関する科目等」・「各教科（保育内容）
の指導法」（令和 5 年度以降入学者）
- (7-3) 「教科（領域）に関する専門的事項」・「大学が独自に設
定する科目」（令和 5 年度以降入学者）
- (7-4) 二種免許状について（令和 5 年度以降入学者）

(7-1) 教職課程の概要（令和5年度以降入学者）

■ 取得できる教員免許状

本学において取得することができる教員免許状の種類及び教科、必要な基礎資格及び最低必要単位数は、以下の表Ⅵ-2-2のとおりです。ただし、修士の学位を基礎資格とする専修免許状は、学部では取得できません。なお、各教員免許状を取得する教育課程は、学科・専攻・コースごとに文部科学省の認定を得ていますが、科目の履修と教員免許状の取得については、学生の所属学科に関わらず、自由に選択できます。

ただし、文学部人間科学科「子ども教育専修プログラム」の学生以外による幼稚園・小学校免許取得のための科目を履修する場合は制限がありますので注意してください。詳細は学務課学務係に問い合わせてください。

中学校、小学校、幼稚園、栄養教諭の二種免許状については「(7-4) 二種免許状について」を参照してください。

表Ⅵ-2-2 本学で取得できる免許状の種類、基礎資格及び修得必要最低単位数

免許状の種類		教 科	所 要 資 格	
			基礎資格	修得必要最低単位数
				教科及び教職に関する科目 (栄養に係る教育及び教職に関する科目)
高等学校教諭	専修免許状	国語、地理歴史、公民、 数学、理科、保健体育、 家庭、情報、英語	修士の学位	83
	一種免許状	国語、地理歴史、公民、 数学、理科、書道、保健 体育、家庭、情報、英語	学士の学位	59
中学校教諭	専修免許状	国語、社会、数学、理科、 保健体育、家庭、英語	修士の学位	83
	一種免許状	国語、社会、数学、理科、	学士の学位	59
	二種免許状	保健体育、家庭、英語	短期大学士の学位	35
小学校教諭	専修免許状	——	修士の学位	83
	一種免許状		学士の学位	59
	二種免許状		短期大学士の学位	37
幼稚園教諭	専修免許状	——	修士の学位	75
	一種免許状		学士の学位	51
	二種免許状		短期大学士の学位	31
栄養教諭	専修免許状	——	修士の学位・管 理栄養士免許	46
	一種免許状		学士の学位・管 理栄養士免許又 は管理栄養士養 成課程修了+栄 養士免許	22
	二種免許状		短期大学士の学 位・栄養士免許	14

※本学における実際に必要な修得単位数は、修得科目が教員免許法・同施行規則上の科目区分と分野（各科目に含めることが必要な事項）を満たす必要があるため、上記表中の単位数よりさらに多くなる場合があります。

なお、二種免許状については「(7-4) 二種免許状について」を参照してください。

※専修免許の基礎資格には、博士前期課程に1年以上在学し、30単位以上取得した場合を含みます。

■ 教育課程の構造

前掲表Ⅵ-2-2に示す「所要資格」（教科及び教職に関する科目）については、以下の3区分に

分けられます。それぞれ修得が必要な単位数等が定められていますので、よく確認のうえ履修してください。

教員免許状を取得するために必要な科目は、教育職員免許法・同施行規則の定めにより、「教科及び教科の指導法（領域及び保育内容の指導法）に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」（教職科目）、「大学が独自に設定する科目」とに大別されます。「教科及び教科の指導法（領域及び保育内容の指導法）に関する科目」は、さらに「教科に関する専門的事項（領域に関する専門的事項）」（教科科目）と「各教科（保育内容）の指導法」（教職科目）に分かれます。

栄養教諭の場合は「栄養に係る教育に関する科目」（栄養教育科目）、「教育の基礎的理解に関する科目等」（教職科目）、「大学が独自に設定する科目」となります。

■ 教育の基礎的理解に関する科目等・各教科（保育内容）の指導法（教職科目）

教職全体の基礎となる科目で、教育の基礎理論や指導法、教育実習などからなります。「(7-2)「教育の基礎的理解に関する科目等」・「各教科（保育内容）の指導法」（令和5年度以降入学者）」（127ページ以降）を確認してください。

「教育の基礎的理解に関する科目等」は全学共通で開講され、原則2年次以上で履修可能です（一部の科目を除く）。必修単位が免許状の種類によって細かく分かれ、さらに入学年度によって異なりますから、必ず該当年度の箇所を熟読して、間違いなく履修してください。教職科目の開講計画は177ページ、各科目の詳細は『Webシラバス』を参照してください。

なお、第3年次編入学生については、本学入学年度の2年前の教職科目が適用されます。

■ 教科（領域）に関する専門的事項（教科科目）、栄養に係る教育に関する科目（栄養教育科目）

教科の専門的な内容を扱います。基本的に、各学部・学科の専門科目です。科目によって1年次から履修できます。免許教科ごと、また開講している学科・コースごとに、履修すべき科目が異なります。また、必修科目・選択必修科目・選択科目に分かれています。教科と学科・コースの組み合わせに注意して、「(7-3) 教科（領域）に関する専門的事項・大学が独自に設定する科目」135ページ以下の表で科目を確かめた上で、『専門教育ガイド』と『Webシラバス』を参照してください。

■ 大学が独自に設定する科目

教科科目や教職科目から選択履修する科目グループです。本学では、免許教科ごとに、教科科目と一部の教職科目を組み合わせるようになっているため、「教科科目」と一括して扱われます。「(7-3) 教科（領域）に関する専門的事項・大学が独自に設定する科目」135ページ以下の表で確認してください。

(7-2) 「教育の基礎的理解に関する科目等」・「各教科（保育内容）の指導法」（教職科目）（令和5年度以降入学者）

A. 高等学校・中学校・小学校・幼稚園教諭関係（令和5年度以降入学者用）

免許状を取得するために必要な「教職科目」は、以下の4群に区分されます。本学の開講科目は、表VIC-1、VIC-2に示すとおりです。入学年度によって履修方法が異なるので、必ず該当する入学年度の説明と表を熟読してください。教職科目の開講計画は177ページ、各科目の詳細は『Webシラバス』を参照してください。1年次で履修できる教職科目は「教職論」1科目だけです。

■ 「教育の基礎的理解に関する科目」の群

全免許状について、「教育原理」（2単位）、「教職論」（2単位）、「教育社会学」又は「教育経営行政論」※（2単位）、「教育心理学」（2単位）、「特別支援論」（1単位）、「教育課程論」（1単位）の合計10単位を必ず履修しなければなりません。

※「教育経営行政論」は、奈良教育大学開講の連携開設科目（89ページ参照）。

■ 「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の群

高等学校 「総合的な探究の時間の指導法」として「総合的な学習の時間の理論と実践」（1単位）、「特別活動の指導法」として「特別活動論」（1単位）、「教育の方法及び技術」・「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」として「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」（2単位）、「生徒指導の理論及び方法」・「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」として「生徒指導・進路指導論」（2単位）、「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」として「教育相談」（2単位）を必ず履修してください。

中学校 「道徳の理論及び指導法」として「道徳教育の理論と実践」（2単位）、「総合的な学習の時間の指導法」として「総合的な学習の時間の理論と実践」（1単位）、「特別活動の指導法」として「特別活動論」（1単位）、「教育の方法及び技術」・「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」として「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」（2単位）、「生徒指導の理論及び方法」・「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」として「生徒指導・進路指導論」（2単位）、「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」として「教育相談」（2単位）を必ず履修してください。

小学校 「道徳の理論及び指導法」として「道徳教育の理論と実践」（2単位）、「総合的な学習の時間の指導法」として「総合的な学習の時間の理論と実践」（1単位）、「特別活動の指導法」として「特別活動論」（1単位）、「教育の方法及び技術」・「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」として「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」（2単位）、「生徒指導の理論及び方法」・「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」として「生徒指導・進路指導論」（2単位）、「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」として「教育相談」（2単位）を必ず履修してください。

幼稚園 「教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）」として「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」（2単位）、「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」として「教育相談」（2単位）、「幼児理解の理論及び方法」として「幼児理解の理論と方法」（1単位）を必ず履修してください。

■ 「各教科の指導法」・「保育内容の指導法」の群

「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」（幼稚園では「保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」）して履修しなければならない科目は、表VIC-2-1～3に示すとおりです。

■ 「教育実践に関する科目」の群

① 「教育実習」

免許状の種類によって、次の科目を履修しなければなりません。なお、免許状ごとに講義コードが異なるので注意してください。詳しくは表VIC-3を参照してください。（本学では「学校

体験活動」に該当する授業科目の開設はありません。)

高等学校 「教育実習Ⅰ」(2単位)及び「事前・事後指導」(1単位)の併せて3単位を、4年次に履修しなければなりません。

中学校・小学校・幼稚園 原則として「教育実習Ⅱ」(2単位)を3年次に、「教育実習Ⅰ」(2単位)及び「事前・事後指導」(1単位)を4年次に履修し、併せて5単位を履修しなければなりません。

なお、「教育実習Ⅰ」の履修には履修条件が課せられ、免許状の種類によって、前もって履修しておくべき科目が定められています(「(4)教育実習について」119ページ参照)。3年次が終わるまでに、所定の科目を履修して単位を取得してください。また、幼稚園・小学校については、「教育実習Ⅱ」の履修に「教育実習Ⅰ」と同様の履修条件を課していますので、あわせて確認してください。

また、教育実習の実施時期と実習先は、取得したい免許状の種類によって、細かく分かれています。119ページ以下の「(4)教育実習について(幼・小・中・高教員免許)」を熟読し、間違いなく履修してください。

②「教職実践演習」

免許状の種類によって、必要な教職科目を履修した上で、次の科目を4年次後期に履修しなければなりません。表VIC-4を参照してください。

高等学校・中学校 「教職実践演習(中・高)」(2単位)を必ず履修しなければなりません。

小学校・幼稚園 「教職実践演習(幼・小)」(2単位)を必ず履修しなければなりません。

※教職実践演習(中・高)と教職実践演習(幼・小)の両方に該当する場合は、それぞれ履修登録してください。

※食物栄養学科の学生のうち、教職実践演習(中・高)と教職実践演習(栄養)の両方に該当する場合は、それぞれ履修登録してください。

なお、教職実践演習の実施日程については、7月上旬頃に実習掲示板でお知らせしますので、必ず確認してください。例年、10・11・12月に各1日ずつ(土曜日)計3回の集中講義と学校観察(11月中旬ごろ)を実施します。

※欠席は附属学校園教育実習における公欠要件と同一とします。病欠・忌引・就職試験・面接・大学院受験：欠席届及び証明書提出の上、1日限り認め、個別指導を行いません。2日以上欠席は認めません。

※「教職実践演習」の履修条件として、1年次から「履修カルテ」を作成する必要があります。詳細については「教職論」の授業の中でガイダンスを行います。履修カルテの様式・作成見本等はホームページからダウンロードしてください。なお、入学年度等によって様式が異なりますので、注意してください。

koto.nara-wu.ac.jp/gakusei/kyomen2.htm

・履修カルテには、免許状取得に必要な教職科目すべての履修記録・成績、毎学年末の自己評価等の情報を蓄積します。1年次から4年次まで各自大切に保管してください。

・履修カルテは、「教職実践演習」第1回集中講義にて使用します。第1回集中講義までに履修カルテを完成させて、必ず持参・提出してください。履修カルテを完成させて提出できなければ、「教職実践演習」を履修することはできません。

※指定科目(下記)について、学習の記録としてLMSでレポートを提出・保存しておき、教員の評価コメントを「履修カルテ」に記録する必要があります。

中・高 「教職論」「教育課程論」「教育相談」「教育方法の理論と実践(情報通信技術の活用を含む。)」

- 小 「教職論」「教育課程論」「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」「教育相談」
- 幼 「教職論」「教育課程論」「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」「教育相談」「幼児理解の理論と方法」

※ 3 年次編入生について

教職実践演習履修開始時に前大学の履修カルテを持参できる場合、前大学の単位修得済科目について、教職実践演習のためのレポートは例外的な扱いが可能です。なお、前大学で履修カルテを作成している場合でも、本学での履修カルテ作成は必要です。

表VIC-1 教育の基礎的理解に関する科目等（教職科目）（令和5年度以降入学用）

免許法施行規則に定める科目区分 (法定単位数。カッコ内は二種免許)			本学開講科目			必要単位数				履修年次
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名（講義コード）		単位	高	中	小	幼	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10 (6)	教育原理 (A) 0160201・(B) 0160202		2	10		10		2年次以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職論 (A) 0160001・(B) 0160002		2					1年次以上
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学 ※1 (A) 0160411・(B) 0160412	(2)	2					2年次以上
			教育経営行政論 ※1 (A) 0169320・(B) 0169325	(2)						
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 (A) 0160501・(B) 0160502		2					
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援論 0160550		1					
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論 ※2 (A) 0160611・(B) 0160612		1					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	高8 中10(6) 小10(6) 幼4	道徳教育の理論と実践 (A) 0161121・(B) 0161122		2	—	6	4	—	2年次以上
	(小中) 総合的な学習の時間の指導法 (高) 総合的な探究の時間の指導法		総合的な学習の時間の理論と実践 0161150		1	4				
	特別活動の指導法		特別活動論 ※2 (A) 0160711・(B) 0160712		1					
	・教育の方法及び技術 ・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。)(0160910)	2	—	—	—			
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。)				—	—	2			
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導論 (A) 0165501・(B) 0165502	2	4	6	—			
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	2	3	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)									
	幼児理解の理論及び方法						幼児理解の理論と方法(0165900)		1	
	教育実践に関する科目		教育実習（表VIC—3参照）	高3 中5 小5 幼5	事前・事後指導(教育実習)		1	3	5	
教育実習I		2	3年次以上							
教育実習II		2								
学校体験活動		—	—	—	—					
教職実践演習（表VIC—4参照）		2	教職実践演習		2	2	2	4年次 (教職科目の最後に履修)		
最低修得単位数										
高23、中27、小27、幼21 (19) (19) (17)						23	27	27	22	

- ※1 「教育社会学」又は「教育経営行政論」のいずれかを2単位以上修得すること。また、「教育経営行政論」は奈良教育大学開講の連携開設科目。
- ※2 「教育課程論」と「特別活動論」の2科目については、同じクラス名同士（A／B）のいずれかの組合せを必ずセットで履修登録すること。履修方法は、各科目のシラバスを参照すること。
- ※3 ※2以外のクラス分けのある科目については、（A）・（B）どちらを履修しても構いません。

表VIC-2-1 各教科の指導法・保育内容の指導法（教職科目）（令和5年度以降入学用）

免許法施行規則に定める科目区分 (法定単位数。カッコ内は二種免許)			本学開講科目		必要単位数（※）				履修年次
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科 目 名	単位	高	中	小	幼	
教科及び教科の指導法・領域及び保育内容の指導法に関する科目	・各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） ・保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） (表VIC—2—2～3参照)	高4 中8(2) 小一 幼一	中等教科教育法(各2単位)	高4 中8	4	8	—	—	2年次以上
			初等教科教育法(各2単位)※ 〔国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語〕 保育内容指導法※ 〔総論、健康、人間関係、環境、言葉(各2単位) 表現・音楽分野、表現・造形分野(各1単位)〕	20	—	20	—	12	
最低修得単位数 高4、中8（2）。小・幼については最低修得単位数の定めなし。					4	8	20	12	

表ⅥC-2-2 「各教科の指導法」に関する本学開講科目（高等学校・中学校）

令和5年度以降入学者用

免許種別	科目名（講義コード）	中学校		高等学校		免許種別	科目名（講義コード）	中学校		高等学校	
		単位	必修	単位	必修			単位	必修	単位	必修
国 語	中等教科教育法 国語Ⅰ(0161200)	2		2		数 学	中等教科教育法 数学Ⅰ(0162200)	2		2	
	中等教科教育法 国語Ⅱ(0161300)	2		4			中等教科教育法 数学Ⅱ(0162300)	2		2	
	中等教科教育法 国語Ⅲ(0161340)	2	8	2			中等教科教育法 数学Ⅲ(0162340)	2	8	2	4
	中等教科教育法 国語Ⅳ(0161350)	2					中等教科教育法 数学Ⅳ(0162350)	2			
英 語 ※1	中等教科教育法 英語Ⅰ(0161400)	2		2	4	理 科	中等教科教育法 理科Ⅰ(0162400)	2		2	
	中等教科教育法 英語Ⅱ(0161500)	2		2	(※2)		中等教科教育法 理科Ⅱ(0162500)	2		2	
	中等教科教育法 英語Ⅲ(0161540)	2	8	2	4		中等教科教育法 理科Ⅲ(0162540)	2	8	2	4
	中等教科教育法 英語Ⅳ(0161550)	2		2	(※2)		中等教科教育法 理科Ⅳ(0162550)	2			
地理歴史	中等教科教育法 社会Ⅰ(地歴分野)(0161930)	—	—	2	4	家 庭	中等教科教育法 家庭Ⅰ(0162800)	2		2	
	中等教科教育法 社会Ⅱ(地歴分野)(0161950)	—		2			中等教科教育法 家庭Ⅱ(0162900)	2		2	
公 民	中等教科教育法 社会Ⅲ(公民分野)(0161940)	—	—	2	4		中等教科教育法 家庭Ⅲ(0163120)	2	8	2	4
	中等教科教育法 社会Ⅳ(公民分野)(0161960)	—		2			中等教科教育法 家庭Ⅳ(0163130)	2			
社 会	中等教科教育法 社会Ⅰ(地歴分野)(0161930)	2		—		保健体育	中等教科教育法 保健Ⅰ(0163200)	2		2	
	中等教科教育法 社会Ⅱ(公民分野)(0161940)	2		—			中等教科教育法 保健Ⅱ(0163300)	2		2	
	中等教科教育法 社会Ⅲ(地歴分野)(0161950)	2	8	—	—		中等教科教育法 体育Ⅰ(0163310)	2	8	2	4
	中等教科教育法 社会Ⅳ(公民分野)(0161960)	2		—			中等教科教育法 体育Ⅱ(0163320)	2			
書 道	書道科教育法Ⅰ(0162000)	—	—	2	4	情 報	情報科教育法Ⅰ(0162600)	—	—	2	
	書道科教育法Ⅱ(0162100)	—		2			情報科教育法Ⅱ(0162700)	—		2	4

※1 本学附属中等教育学校で教育実習Ⅰ(中・高)の「英語」を履修する者は、必ず「中等教科教育法英語Ⅲ・Ⅳ」を修得済みであることを履修条件とする。教育実習先については、146ページを必ず参照すること。

※2 高(英語)の指導法については、「中等教科教育法英語Ⅰ・Ⅱ」(4単位)または「中等教科教育法英語Ⅲ・Ⅳ」(4単位)のいずれかの組合せで履修すること。指定の組合せ以外で履修した場合、教員免許状の申請に利用できないので注意すること。

表ⅥC-2-3 「各教科の指導法」「保育内容の指導法」に関する本学開講科目（小学校・幼稚園）

令和5年度以降入学者用

令和5年度以降入学者用

小 学 校			
科目名（講義コード）	単位	必修	
初等教科教育法 国語(書写を含む。)(0166000)	2		
初等教科教育法 社会(0166010)	2		
初等教科教育法 算数(0166020)	2		
初等教科教育法 理科(0166030)	2		
初等教科教育法 生活(0166040)	2		20
初等教科教育法 音楽(0166050)	2		
初等教科教育法 図画工作(0166060)	2		
初等教科教育法 家庭(0166070)	2		
初等教科教育法 体育(0166080)	2		
初等教科教育法 英語(0166090)	2		

幼 稚 園			
科目名（講義コード）	単位	必修	
保育内容指導法(総論)(0166100)	2		
保育内容指導法(健康)(0166110)	2		
保育内容指導法(人間関係)(0166120)	2		
保育内容指導法(環境)(0166130)	2		12
保育内容指導法(言葉)(0166140)	2		
保育内容指導法(表現・音楽分野)(0166150)	1		
保育内容指導法(表現・造形分野)(0166160)	1		

表ⅥC-3 「教育実習」本学開講科目（令和5年度以降入学者用）

高等学校			中 学 校			小学校・中学校共通		
科目名(講義コード)	単位	必修	科目名(講義コード)	単位	必修	科目名(講義コード)	単位	必修
教育実習Ⅰ(0167000)	2		教育実習Ⅰ(0167000)	2		教育実習Ⅰ(0167050)	2	
事前・事後指導(0167200)	1	3	教育実習Ⅱ(0167100)	2	5	教育実習Ⅱ(0167150)	2	5
			事前・事後指導(0167200)	1		事前・事後指導(0167250)	1	
小 学 校			幼 稚 園					
科目名(講義コード)	単位	必修	科目名(講義コード)	単位	必修			
教育実習Ⅰ(2100270)	2		教育実習Ⅰ(2100300)	2				
教育実習Ⅱ(2100280)	2	5	教育実習Ⅱ(2100310)	2	5			
事前・事後指導(2100290)	1		事前・事後指導(2100320)	1				

※幼稚園・小学校については、文学部人間科学科子ども教育専修プログラム専門科目。

表ⅥC-4 「教職実践演習」本学開講科目（令和5年度以降入学者用）

高等学校・中学校			小学校・幼稚園		
科目名(講義コード)	単位	必修	科目名(講義コード)	単位	必修
教職実践演習(中・高)(0169100)	2	2	教職実践演習(幼・小)(2100330)	2	2

※幼稚園・小学校については、文学部人間科学科子ども教育専修プログラム専門科目。

B. 栄養教諭関係 (令和5年度以降入学者用)

栄養教諭免許取得には、基礎資格として「管理栄養士の免許を受けていること」もしくは「管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士の免許を受けていること」が必要です(前掲表Ⅵ-2-2)。免許状を取得するために必要な「教職科目」は、次の4群に区分され、本学の開講科目は、表ⅦD-1に示すとおりです。履修にあたっては、以下の部分を熟読してください。教職科目の開講計画は51ページ、各科目の詳細は『Webシラバス』を参照してください。

■ 「教職の基礎的理解に関する科目」の群

「教育原理」(2単位)、「教職論」(2単位)、「教育社会学」又は「教育経営行政論」※(2単位)、「教育心理学」(2単位)、「特別支援論」(1単位)、「教育課程論」(1単位)の合計10単位を必ず履修しなければなりません。

※「教育経営行政論」は奈良教育大学開講の連携開設科目(89ページ参照)。

■ 「道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の群

「道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容」として「特別活動論」(1単位)、「教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)」として「教育方法の理論と実践(情報通信技術の活用を含む。)」(2単位)、「生徒指導の理論及び方法として「生徒指導・進路指導論」(2単位)、「教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法」として「教育相談」(2単位)を必ず履修してください。

■ 「教育実践に関する科目」の群

① 「栄養教育実習」

「栄養教育実習」(1単位)及び「事前・事後指導(栄養教育実習)」(1単位)の合計2単位を履修しなければなりません。詳しくは表ⅦD-2を参照してください。

栄養教育実習は2年次(7月頃)にガイダンスが行われます。その際に附属小学校、奈良市内の小学校、委託校(母校等)のうち各自の希望する実習先を届け出る必要があります。附属小学校及び奈良市内の小学校での実習申込みは本学で取りまとめますが、受入れ人数に限りがあります。また、委託校(母校等)での実習はガイダンス後に各自で母校と連絡を取り、内諾を得なければなりません。実習は3年次に行われます。

栄養教育実習の履修要件は、「栄養教諭論」「食に関する指導論」を2回生のうちに単位修得済であることです。

■ 麻疹(はしか)の免疫確認の書類提出について

教育実習に行く人は、麻疹(はしか)の免疫確認についての書類〔過去に2回ワクチンを接種したことが分かる書類又は抗体検査の結果(基準値を超える抗体があることが分かる書類)〕を必ず実習又は体験に行くまでに学務課学務係に提出してください。麻疹(はしか)の免疫確認についての書類を提出されない場合は教育実習に行くことができません。

② 「教職実践演習」

「教職実践演習(栄養)」を4年次後期に必ず履修しなければなりません。表ⅦD-3を参照してください。

なお、教職実践演習の実施日程については、7月上旬頃に実習掲示板でお知らせしますので、必ず確認してください。例年、10・11・12月に各1日ずつ(土曜日)計3回の集中講義と学校観察(11月中旬頃)を実施します。

※欠席は附属学校園教育実習における公欠要件と同一とします。病欠・忌引・就職試験・面接・大学院受験：欠席届及び証明書提出の上、1日限り認め、個別指導を行いません。2日以上

欠席は認めません。

※「教職実践演習」の履修条件として、1年次から「履修カルテ」を作成する必要があります。詳細については「教職論」の授業の中でガイダンスを行います。履修カルテの様式・作成見本等はホームページからダウンロードしてください。なお、入学年度等によって様式が異なりますので、注意してください。 koto.nara-wu.ac.jp/gakusei/kyomen2.htm

- ・履修カルテには、免許状取得に必要な教職科目すべての履修記録・成績、毎学年末の自己評価等の情報を蓄積します。1年次から4年次まで各自大切に保管してください。
- ・履修カルテは、教職実践演習第1回集中講義にて使用します。第1回集中講義までに履修カルテを完成させて、必ず持参・提出してください。履修カルテを完成させて提出できなければ、「教職実践演習」を履修することはできません。

※指定科目（下記）について、学習の記録としてLMSでレポートを提出・保存しておき、教員の評価コメントを「履修カルテ」に記録する必要があります。

「教職論」「教育課程論」「教育相談」「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」

表ⅦD-1 栄養教諭関係 教育の基礎的理解に関する科目等（令和5年度以降入学用）

免許法施行規則に定める科目区分 (法定単位数)			本学開講科目		必要単位数	履修年次	
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名（講義コード）	単位			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原理 (A)0160201・(B)0160202	2	10	2年次以上	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論 (A)0160001・(B)0160002	2		1年次以上	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育社会学 ※1 (A)0160411・(B)0160412	(2)		2	2年次以上
			教育経営行政論 ※1 (A)0169320・(B)0169325	(2)			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 (A)0160501・(B)0160502	2			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援論(0160550)	1			
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論 ※2 (A)0160611・(B)0160612	1			
道徳・総合的な学習の時間等に関する科目 生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	特別活動論 ※2 (道徳、総合的な学習の時間に関する内容を含む。) (A)0160711・(B)0160712	1	7	2年次以上	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）(0160910)	2			
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導論 (A)0165501・(B)0165502	2			
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談 (A)0165601・(B)0165602	2			
教育実践に関する科目	栄養教育実習（表VID—2参照）	2	事前・事後指導(栄養教育実習)	1	4	3年次	
			栄養教育実習	1		4年次	
	教職実践演習（表VID—3参照）	2	教職実践演習(栄養)	2			
最低修得単位数（18単位）					21		

※1 「教育社会学」又は「教育経営行政論」のいずれかを2単位以上修得すること。また、「教育経営行政論」は奈良教育大学開講の連携開設科目。

※2 「教育課程論」と「特別活動論」の2科目については、同じクラス名同士（A／B）のいずれかの組合せを必ずセットで履修登録すること。履修方法は、各科目のシラバスを参照すること。

※3 ※2以外のクラス分けのある科目については、（A）・（B）どちらを履修しても構いません。

表ⅦD-2 栄養教諭関係「教育実習」本学開講科目（令和5年度以降入学用）

栄 養		
科目名（講義コード）	単位	必修
事前・事後指導(栄養教育実習)(0168500)	1	2
栄養教育実習(0167900)	1	

表ⅦD-3 栄養教諭関係「教職実践演習」本学開講科目（令和5年度以降入学用）

栄 養		
科目名（講義コード）	単位	必修
教職実践演習(栄養)(0169200)	2	2

(7-3) 「教科（領域）に関する専門的事項」・「大学が独自に設定する科目」

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| (1) 地理歴史 | 文学部人文社会学科（令和5年度以降入学者用） |
| (2) 公民 | 文学部人文社会学科（令和5年度入学者用） |
| 公民 | 文学部人文社会学科（令和6年度以降入学者用） |
| (3) 社会 | 文学部人文社会学科（令和5年度入学者用） |
| 社会 | 文学部人文社会学科（令和6年度以降入学者用） |
| (4) 国語 | 文学部言語文化学科（令和5年度以降入学者用） |
| (5) 書道 | 文学部言語文化学科（令和5年度以降入学者用） |
| (6) 英語 | 文学部言語文化学科（令和5年度以降入学者用） |
| (7) 数学 | 理学部数物科学科数学コース（令和5年度以降入学者用） |
| (8) 理科 | 理学部数物科学科物理学コース（令和5年度以降入学者用） |
| (9) 理科 | 理学部化学生物環境学科（令和5年度以降入学者用） |
| (10) 家庭 | 生活環境学部食物栄養学科（令和5年度入学者用） |
| 家庭 | 生活環境学部食物栄養学科（令和6年度以降入学者用） |
| (11) 栄養 | 生活環境学部食物栄養学科（令和5年度以降入学者用） |
| (12) 家庭 | 生活環境学部心身健康学科生活健康学コース（令和5年度入学者用） |
| 家庭 | 生活環境学部心身健康学科生活健康学コース（令和6年度入学者用） |
| 家庭 | 生活環境学部心身健康学科生活健康学コース（令和7年度以降入学者用） |
| (13) 保健体育 | 生活環境学部心身健康学科スポーツ健康科学コース（令和5年度以降入学者用） |
| (14) 家庭 | 生活環境学部住環境学科（令和5年度入学者用） |
| 家庭 | 生活環境学部住環境学科（令和6年度以降入学者用） |
| (15) 家庭 | 生活環境学部文化情報学科生活文化学コース（令和5年度入学者用） |
| 家庭 | 生活環境学部文化情報学科生活文化学コース（令和6年度以降入学者用） |
| (16) 情報 | 生活環境学部文化情報学科生活情報通信科学コース（令和5年度以降入学者用） |
| (17) 小学校 | 文学部人間科学科子ども教育専修プログラム（令和5・6年度入学者用）（※） |
| 小学校 | 文学部人間科学科子ども教育専修プログラム（令和7年度以降入学者用）（※） |
| (18) 幼稚園 | 文学部人間科学科子ども教育専修プログラム（令和5・6年度入学者用）（※） |
| 幼稚園 | 文学部人間科学科子ども教育専修プログラム（令和7年度以降入学者用）（※） |

（※）文学部人間科学科「子ども教育専修プログラム」の学生以外による幼稚園・小学校免許取得のための科目を履修する場合は制限がありますので注意してください。詳細は学務課学務係に問い合わせてください。

(1) 地理歴史 文学部人文社会学科 (令和5年度以降入学者用)

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数（高等学校一種）				
		必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数	
教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	日本史	日本史概論 A	2	2	日本古代史特殊研究 A	2
		日本史概論 B	2		日本史特殊研究 A	2
					日本史特殊研究 B	2
					日本史特殊研究 C	2
					日本史特殊研究 D	2
					日本史特殊研究 E	2
					日本古代史講読	2
					日本史講読 A	2
					日本史講読 B	2
	外国史	東洋史概論 A	2	2	東洋古代史特殊研究	2
		東洋史概論 B	2		東洋史特殊研究 A	2
		西洋史概論 A	2	2	東洋史特殊研究 B	2
		西洋史概論 B	2		西洋史特殊研究 A	2
					西洋史特殊研究 B	2
					西洋史特殊研究 C	2
					東洋古代史講読	2
					東洋史講読 A	2
					東洋史講読 B	2
	西洋史講読 A				2	
西洋史講読 B	2					
人文地理学及び自然 地理学	人文地理学概論 A	2	2	地域情報学概論 A	2	
	人文地理学概論 B	2		地域情報学概論 B	2	
	自然地理学概論 A	2	2	人文地理学特殊研究	2	
	自然地理学概論 B	2		経済地理学特殊研究	2	
				都市地理学特殊研究	2	
				社会地理学特殊研究	2	
				文化地理学特殊研究	2	
				環境地理学特殊研究	2	
				地域分析論特殊研究	2	
				地域環境論特殊研究	2	
				地形環境学特殊研究	2	
環境変遷史特殊研究				2		
気候・風土学特殊研究				2		
地域調査法特殊研究	2					
地誌	地誌 A	2	2			
	地誌 B	2				
計20単位		計		12		
大学が独自に設定する 科目 12単位				20		
計	32単位		32		左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または下記のものも選択可能。ただし、高等学校免許の申請において利用できるのは、最大で12単位まで。 ・道徳教育の理論と実践 ・学校図書館メディアの活用 ・学校フィールド演習I(学校体験活動)※ ・読書と豊かな人間性 ・学校フィールド演習II(学校インターシップ)※ ・学校経営と学校図書館 ・学習指導と学校図書館 ※奈良教育大学連携開設科目	

(2) 公 民 文学部人文社会学科 (令和5年度入学者用)

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数（高等学校一種）				
		必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数	
教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学概論A	2	2		
		法学概論B	2			
		政治学概論A	2	2		
		政治学概論B	2			
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学概論A	2	2	文化人類学概論	2
		社会学概論B	2		文化社会学概論	2
		経済学概論A	2	2	現代社会論特殊研究	2
		経済学概論B	2		社会調査法特殊研究	2
					計量社会学特殊研究	2
					文化社会学特殊研究	2
					地域社会学特殊研究	2
					家族社会学特殊研究	2
			文化人類学特殊研究	2		
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論	2	2	哲学特殊研究	2
倫理学概論		2	倫理学特殊研究		2	
				思想文化学特殊研究	2	
				宗教学特殊研究	2	
				心理学概論	2	
				心の研究史概論	2	
				社会心理学特殊研究	2	
				感情・人格心理学	2	
		対人心理学特殊研究	2			
計20単位		計		10		
大学が独自に設定する科目 12単位				22	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、高等学校免許の申請において利用できるのは、最大で12単位まで。 ・道徳教育の理論と実践 ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目	
計	32単位			32		

公 民 文学部人文社会学科（令和6年度以降入学用）

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数（高等学校一種）					
		必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数		
教科に関する専門的事項	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学概論 A	2	2			
		法学概論 B	2				
		政治学概論 A	2				
		政治学概論 B	2				
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学概論 A	2	2	文化人類学概論		2
		社会学概論 B	2		文化社会学概論		2
		経済学概論 A	2	2	現代社会論特殊研究		2
		経済学概論 B	2		社会調査法特殊研究		2
					計量社会学特殊研究		2
					文化社会学特殊研究		2
					地域社会学特殊研究		2
					家族社会学特殊研究		2
	文化人類学特殊研究			2			
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論			2	2	哲学特殊研究	
	倫理学概論	2	人間存在論特殊研究			2	
			倫理学特殊研究		2		
			思想文化学特殊研究		2		
			哲学思想史特殊研究		2		
			宗教学特殊研究		2		
			心理学概論		2		
			心の研究史概論		2		
			社会心理学特殊研究		2		
			感情・人格心理学		2		
対人心理学特殊研究		2					
計20単位		計		10			
大学が独自に設定する科目 12単位			22	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、高等学校免許の申請において利用できるのは、最大で12単位まで。 ・道徳教育の理論と実践 ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目			
計	32単位		32				

(3) 社 会 文学部人文社会学科 (令和5年度入学者用)

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数（中学校一種）							
		必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数				
教科に関する専門的事項	日本史及び外国史	日本史概論 A	2	2	日本古代史特殊研究 A	2	東洋史特殊研究 A	2	
		日本史概論 B	2		日本史特殊研究 A	2	東洋史特殊研究 B	2	
		東洋史概論 A	2	2	日本史特殊研究 B	2	西洋史特殊研究 A	2	
		東洋史概論 B	2		日本史特殊研究 C	2	西洋史特殊研究 B	2	
		西洋史概論 A	2	2	日本史特殊研究 D	2	西洋史特殊研究 C	2	
		西洋史概論 B	2		日本史特殊研究 E	2	東洋古代史講読	2	
					日本古代史講読	2	東洋史講読 A	2	
					日本史講読 A	2	東洋史講読 B	2	
					日本史講読 B	2	西洋史講読 A	2	
					東洋古代史特殊研究	2	西洋史講読 B	2	
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学概論 A	2	2	地域情報学概論 A	2	環境地理学特殊研究	2	
		人文地理学概論 B	2		地域情報学概論 B	2	地域分析論特殊研究	2	
		自然地理学概論 A	2	2	人文地理学特殊研究	2	地域環境論特殊研究	2	
		自然地理学概論 B	2		経済地理学特殊研究	2	地形環境学特殊研究	2	
		地誌 A	2	2	都市地理学特殊研究	2	環境変遷史特殊研究	2	
		地誌 B	2		社会地理学特殊研究	2	気候・風土学特殊研究	2	
				文化地理学特殊研究	2	地域調査法特殊研究	2		
	「法学、政治学」	法学概論 A	2	2					
		法学概論 B	2						
		政治学概論 A	2						
		政治学概論 B	2						
	「社会学、経済学」	社会学概論 A	2	2	文化人類学概論	2	文化社会学特殊研究	2	
		社会学概論 B	2		文化社会学概論	2	地域社会学特殊研究	2	
		経済学概論 A	2		現代社会論特殊研究	2	家族社会学特殊研究	2	
		経済学概論 B	2		社会調査法特殊研究	2	文化人類学特殊研究	2	
					計量社会学特殊研究	2			
	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	2	2	哲学特殊研究	2	思想文化学特殊研究	2	
倫理学概論		2	倫理学特殊研究		2	宗教学特殊研究	2		
	計20単位	計		18					
大学が独自に設定する科目 4 単位			6	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目				ただし、中学校免許の申請において利用できるのは、最大で4 単位まで。	
計	24単位		24						

社 会 文学部人文社会学科（令和6年度以降入学者用）

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数（中学校一種）							
		必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数				
教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	日本史及び外国史	日本史概論 A	2	2	日本古代史特殊研究 A	2	東洋史特殊研究 A	2	
		日本史概論 B	2		日本史特殊研究 A	2	東洋史特殊研究 B	2	
		東洋史概論 A	2	2	日本史特殊研究 B	2	西洋史特殊研究 A	2	
		東洋史概論 B	2		日本史特殊研究 C	2	西洋史特殊研究 B	2	
		西洋史概論 A	2	2	日本史特殊研究 D	2	西洋史特殊研究 C	2	
		西洋史概論 B	2		日本史特殊研究 E	2	東洋古代史講読	2	
					日本古代史講読	2	東洋史講読 A	2	
					日本史講読 A	2	東洋史講読 B	2	
					日本史講読 B	2	西洋史講読 A	2	
					東洋古代史特殊研究	2	西洋史講読 B	2	
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学概論 A	2	2	地域情報学概論 A	2	環境地理学特殊研究	2	
		人文地理学概論 B	2		地域情報学概論 B	2	地域分析論特殊研究	2	
		自然地理学概論 A	2	2	人文地理学特殊研究	2	地域環境論特殊研究	2	
		自然地理学概論 B	2		経済地理学特殊研究	2	地形環境学特殊研究	2	
		地誌 A	2	2	都市地理学特殊研究	2	環境変遷史特殊研究	2	
		地誌 B	2		社会地理学特殊研究	2	気候・風土学特殊研究	2	
				文化地理学特殊研究	2	地域調査法特殊研究	2		
	「法学、政治学」	法学概論 A	2	2					
		法学概論 B	2						
		政治学概論 A	2						
		政治学概論 B	2						
		「社会学、経済学」	社会学概論 A	2	2	文化人類学概論	2	文化社会学特殊研究	2
			社会学概論 B	2		文化社会学概論	2	地域社会学特殊研究	2
			経済学概論 A	2		現代社会論特殊研究	2	家族社会学特殊研究	2
			経済学概論 B	2		社会調査法特殊研究	2	文化人類学特殊研究	2
						計量社会学特殊研究	2		
		「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	2	2	哲学特殊研究	2	思想文化学特殊研究	2
	倫理学概論		2	人間存在論特殊研究		2	哲学思想史特殊研究	2	
				倫理学特殊研究		2	宗教学特殊研究	2	
計20単位	計		18						
大学が独自に設定する科目 4 単位			6	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目					
計	24単位		24	ただし、中学校免許の申請において利用できるのは、最大で4 単位まで。					

(4) 国 語 文学部言語文化学科 (令和5年度以降入学者用)

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数			
			必修科目と単位数			必修
教科 に 関 す る 専 門 的 事 項	国語学 (音声言語 及び文章表 現に関する ものを含 む。)		国語学概論 A (国語学)	2	国語学特殊研究 A (国語学)	2
			国語学概論 B (国語学)	2	国語学特殊研究 B (国語学)	2
			国語史概論 A (国語学)	2	国語学講読 I (国語学)	2
			国語史概論 B (国語学)	2	国語学講読 II (国語学)	2
						8
	国文学 (国文学史 を含む。)		日本言語文化学概論 A (国文学史)	2	近代国文学特殊研究 A (国文学)	2
			日本言語文化学概論 B (国文学史)	2	近代国文学特殊研究 B (国文学)	2
			日本アジア言語文化学入門 A (国文学)	2	上代国文学講読 A (国文学)	2
			上代国文学特殊研究 A (国文学)	2	上代国文学講読 B (国文学)	2
			上代国文学特殊研究 B (国文学)	2	中古中世国文学講読 A (国文学)	2
			中古中世国文学特殊研究 A (国文学)	2	中古中世国文学講読 B (国文学)	2
			中古中世国文学特殊研究 B (国文学)	2	中世近世国文学講読 A (国文学)	2
			中世近世国文学特殊研究 A (国文学)	2	中世近世国文学講読 B (国文学)	2
			中世近世国文学特殊研究 B (国文学)	2	近代国文学講読 A (国文学)	2
					近代国文学講読 B (国文学)	2
	漢文学		中国言語文化学概論 A (漢文学)	2	中国文学特殊研究 A (漢文学)	2
			中国言語文化学概論 B (漢文学)	2	中国文学特殊研究 B (漢文学)	2
			日本アジア言語文化学入門 B (漢文学)	2	中国文学講読 A (漢文学)	2
			中国語学概論 I (漢文学)	2	中国文学講読 B (漢文学)	2
			中国語学概論 II (漢文学)	2		4
	書道 (書写を中 心とする。)		書道 A I	1	書道 B II	1
			書道 A II	1	書写 I	1
			書道 B I	1	書写 II	1
	計20単位		計			20
			高等学校一種 中学校一種			22
大学が 独自に 設定す る科目	高等学 校一種	12 単位	上記で必修として履修しなかった科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ただし、書道に関する科目は、中学校のみ選択可能。 ・道徳教育の理論と実践 (高校のみ選択可) ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習 I (学校体験活動) ※ ・学校フィールド演習 II (学校インターンシップ) ※ ※奈良教育大学連携開設科目			12
	中学校 一種	4 単位				2
合計	高等学 校一種	32 単位				32
	中学校 一種	24 単位				24

(5) 書 道 文学部言語文化学科 (令和5年度以降入学者用)

免許法上の科目 区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数（高校一種）		
		必修科目と単位数	必修	選択科目と単位数
教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	書道 (書写を含む。)	書道AⅠ	1	2
		書道AⅡ	1	
		書道BⅠ	1	
		書道BⅡ	1	
		書写Ⅰ	1	
		書写Ⅱ	1	
	書道史	書道史A	2	2
		書道史B	2	
	「書論、鑑賞」	書道理論	2	2
		書道名品鑑賞	2	
	「国文学、 漢文学」	日本アジア言語文化学入門A	2	4
		日本アジア言語文化学入門B	2	
		日本言語文化学概論A	2	
		日本言語文化学概論B	2	
		上代国文学特殊研究A	2	
		上代国文学特殊研究B	2	
		中古中世国文学特殊研究A	2	
		中古中世国文学特殊研究B	2	
		中世近世国文学特殊研究A	2	
		中世近世国文学特殊研究B	2	
		近代国文学特殊研究A	2	
		近代国文学特殊研究B	2	
		上代国文学講読A	2	
		上代国文学講読B	2	
		中古中世国文学講読A	2	
		中古中世国文学講読B	2	
		中世近世国文学講読A	2	
		中世近世国文学講読B	2	
		近代国文学講読A	2	
		近代国文学講読B	2	
		中国言語文化学概論A	2	
		中国言語文化学概論B	2	
		中国文学特殊研究A	2	
		中国文学特殊研究B	2	
		中国文学講読A	2	
		中国文学講読B	2	
計20単位		計		
大学が独自に 設定する科目	12単位	上記の科目欄で必修として履修しなかった科目から 選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、高等学 校免許の申請において利用できるのは、最大で12単 位まで。 ・ 道德教育の理論と実践 ・ 学校経営と学校図書館 ・ 学校図書館メディアの構成 ・ 学習指導と学校図書館 ・ 読書と豊かな人間性 ・ 情報メディアの活用 ・ 学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・ 学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目	22	
合 計	32単位	—	32	

(6) 英 語 文学部言語文化学科 (令和5年度以降入学者用)

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数				
			必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数	
教科に 関する 専門的 事項	英語学		英語学概論 A	2	4	英語分析論特殊研究	2
			英語学概論 B	2		英語表現論特殊研究	2
			英語理論概論 A	2		英語テキスト論特殊研究	2
			英語理論概論 B	2		英語対照論特殊研究	2
			英文法講読 A	2	4	英語対照論演習	2
			英文法講読 B	2		英語分析論演習	2
			英語学講読 A	2		英語表現論演習	2
			英語学講読 B	2		英語テキスト論演習	2
	英語文学		イギリス言語文化史概論 A	2	2		
			イギリス言語文化史概論 B	2			
			アメリカ言語文化史概論 A	2			
			アメリカ言語文化史概論 B	2			
			イギリス文学テキスト論講読 A	2	6		
			イギリス文学テキスト論講読 B	2			
			アメリカ文学テキスト論講読 A	2			
			アメリカ文学テキスト論講読 B	2			
	英語 コミュニ ケーション		英語コミュニケーション A	1	4		
			英語コミュニケーション B	1			
			英語コミュニケーション C	1			
			英語コミュニケーション D	1			
			英語コミュニケーション E	1			
			英語コミュニケーション F	1			
			英語コミュニケーション G	1			
			英語コミュニケーション H	1			
	異文化理解		イギリス地域文化論講読 A	2	2		
			イギリス地域文化論講読 B	2			
			アメリカ地域文化論講読 A	2			
			アメリカ地域文化論講読 B	2			
	計20単位		計		22		
大学が 独自に 設定する科目	高等学校 一種	12 単位	—		10	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ・ 道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・ 学校経営と学校図書館 ・ 学校図書館メディアの構成 ・ 学習指導と学校図書館 ・ 読書と豊かな人間性 ・ 情報メディアの活用 ・ 学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・ 学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目	
	中学校 一種	4 単位	—		2		
合計	高等学校 一種	32 単位	—		32		
	中学校 一種	24 単位	—		24		

(7) 数 学 理学部数物科学科数学コース（令和5年度以降入学者用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数					
			必修科目と単位数			必修	選択科目と単位数	
教科に 関する 専門的 事項	代数学		線形代数学Ⅰ	2	2	線形代数学Ⅰ 演習	2	
			線形代数学Ⅱ	2		線形代数学Ⅱ 演習	2	
	幾何学		集合・位相	2	2	集合・位相演習	2	
			グラフ理論	2		ベクトルと空間の幾何学	2	
						ベクトルと空間の幾何学演習	2	
						形態の数理	2	
	解析学		微分積分学Ⅰ	2	2	微分積分学Ⅰ 演習	2	
			微分積分学Ⅱ	2		微分積分学Ⅱ 演習	2	
		微分積分学入門	2	微分積分学Ⅲ		2		
				微分積分学Ⅲ 演習		2		
				ベクトル解析		2		
				ベクトル解析演習		2		
「確率論、 統計学」		数理統計学	2	2	確率解析学	2		
		確率論入門	2					
	統計処理論	2						
コンピュータ		プログラミング	2	2	プログラミング演習	2		
		発展方程式の数値解法	2		計算機処理演習	2		
		計算機処理	2					
	計20単位		計		10			
大学が 独自に 設定する科目	高等学校 一種	12 単位	—		22	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目		
	中学校 一種	4 単位	—		14			
合計	高等学校 一種	32 単位	—		32			
	中学校 一種	24 単位	—		24			

(8) 理 科 理学部数物科学科物理学コース (令和5年度以降入学者用)

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数							
			必修科目と単位数		中学	高校	選択科目と単位数			
教科に 関する 専門的 事項	物理学		基礎の物理 (A)	2	2		力学 2	2	電磁気学 1 演習	2
			現代の物理 (A)	2			力学演習	2	電磁気学 2	2
			力学 1	2			熱力学	2	電磁気学 2 演習	2
							量子力学 1	2	統計力学 1	2
	化学				2		量子力学 2	2	統計力学 2	2
							電磁気学 1	2		
			化学概論Ⅰ※	2			基礎化学 3 ※	2		
			化学概論Ⅱ※	2			基礎化学 4 ※	2		
	生物学		基礎化学 1 ※	2			物理化学通論 1 ※	2		
			基礎化学 2 ※	2			無機化学通論 1 ※	2		
					2		有機化学通論 1 ※	2		
			基礎生物学 1 ※	2			生化学※	2	進化生物学※	2
地学		基礎生物学 2 ※	2			基礎細胞生物学※	2	生物環境統計学※	2	
						基礎遺伝学※	2	生命圏の地球化学※	2	
					植物生理学※	2	環境リスク論※	2		
					恒常性の生理学※	2	生物統計学※	2		
<中学> 物理学実験・ 化学実験・ 生物学実験・ 地学実験	<高校> 「物理学実験、 化学実験、 生物学実験、 地学実験」		地学概論 1 (A)	2	4		保全生物学※	2		
			地学概論 2 (A)	2						
			地球環境科学 1 (A)	2						
			地球環境科学 2 (A)	2						
			物理学実験 1 (A)	2		2				
			化学基礎実験 1 (A)	2		2				
大学が 独自に 設定する科目	高等学校 一種	12 単位	—		—	20	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目 及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において利用できるのは、最大で高等学校12単位・ 中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目			
	中学校 一種	4 単位	—		8	—				
合計	高等学校 一種	32 単位	—		—	32				
	中学校 一種	24 単位	—		24	—				

注：※印の付いた科目は、化学生物環境学科開講科目。

(9) 理 科 理学部化学生物環境学科 (化学コース・生物科学コース・環境科学コース)
(令和5年度以降入学者用)

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数						
			必修科目と単位数		中学	高校	選択科目と単位数		
教科に 関する 専門的 事項	物理学	基礎の物理(B)	2	2	力学 2 ※	2	電磁気学 1 演習※	2	
		現代の物理(B)	2		力学演習※	2	電磁気学 2 ※	2	
		力学 1※	2		熱力学※	2	電磁気学 2 演習※	2	
					量子力学 1 ※	2	統計力学 1 ※	2	
					量子力学 2 ※	2	統計力学 2 ※	2	
					電磁気学 1 ※	2			
	化学	基礎化学 1	2	2	基礎化学 3	2			
		基礎化学 2	2		基礎化学 4	2			
		化学概論Ⅰ	2		物理化学通論 1	2			
		化学概論Ⅱ	2		無機化学通論 1	2			
					有機化学通論 1	2			
	生物学	基礎生物学 1	2	2	生化学	2	進化生物学	2	
基礎生物学 2		2	基礎細胞生物学		2	生物環境統計学	2		
			基礎遺伝学		2	生命圏の地球化学	2		
			植物生理学		2	環境リスク論	2		
			恒常性の生理学		2	生物統計学	2		
				保全生物学	2				
地学	地学概論 1 (B)	2	2						
	地学概論 2 (B)	2							
地球環境科学 1 (B)	2								
地球環境科学 2 (B)	2								
<中学> 物理学実験・ 化学実験・ 生物学実験・ 地学実験	物理学実験 1 (B)	2	2	4					
	化学基礎実験 1 (B)	2	2						
	生物学実験(B)	2	2						
	地学実験Ⅰ(B)又は(C)	1	2						
	地学実験Ⅱ (B)	1							
	計20単位	計	16	12					
大学が 独自に 設定する 科目	高等学校一種	12 単位	—	—	20	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目			
	中学校一種	4 単位	—	8	—				
合計	高等学校一種	32 単位	—	—	32				
	中学校一種	24 単位	—	24	—				

注：※印の付いた科目は、数物科学科物理学コース開講科目。

(10) 家 庭 生活環境学部食物栄養学科 (令和5年度入学者用)

免許法上の科目区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数			
			必修科目と単位数	中	高	選択科目と単位数
教科に関する専門的事項	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)		家族関係論 生活経営学 (家庭経済学を含む。)	2 2	4	
	被服学(被服実習を含む。)		衣環境学概論 被服学実習Ⅰ 被服学実習Ⅱ	2 1 1	4	
	食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)		食物科学概論 (栄養学、食品学を含む。) 調理学実習 応用調理学実習	2 1 1	4	食品微生物学 食品化学総論 食品化学各論 食品加工学 生体安全学 食品衛生学
	(中)住居学 (高)住居学		住環境学概論	2	2	2 調理科学 2 栄養生化学 2 食品化学実験 2 生体安全学実験 2 食品微生物学実験 2 基礎栄養学実験
	(中)保育学 (高)保育学		育児学	2	2	
						家庭機械・家庭電気・情報処理(高校のみ) 2
	計20単位		計	16	16	
大学が独自に設定する科目	高等学校一種	12単位	——	—	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践(高校のみ選択可) ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ(学校体験活動) ※ ・学校フィールド演習Ⅱ(学校インターンシップ) ※ ※奈良教育大学連携開設科目
	中学校一種	4単位	——	8	—	
合 計	高等学校一種	32単位	——	—	32	
	中学校一種	24単位	——	24	—	

家 庭 生活環境学部食物栄養学科（令和6年度以降入学者用）

免許法上の科目区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数			
			必修科目と単位数	中	高	選択科目と単位数
教 科 に関 する 専門 的 事項	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)		家族関係論 生活経営学 (家庭経済学を含む。)	2 2	4	
	被服学(被服実習を含む。)		衣環境学概論 被服学実習Ⅰ 被服学実習Ⅱ	2 1 1	4	
	食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)		食物科学概論 (栄養学、食品学を含む。) 調理学実習 応用調理学実習	2 1 1	4	食品微生物学 食品化学総論 食品化学各論 食品加工学 生体安全学 食品衛生学
	(中)住居学 (高)住居学		住環境学概論	2	2	2 調理科学 2 栄養生化学 2 食品化学実験 2 生体安全学実験 2 食品微生物学実験 2 基礎栄養学実験
	(中)保育学 (高)保育学		育児学	2	2	
	計20単位		計	16	16	
大学が 独自に 設定す る科目	高等学校 一種	12単位	—	—	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践(高校のみ選択可) ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ(学校体験活動) ※ ・学校フィールド演習Ⅱ(学校インターンシップ) ※ ※奈良教育大学連携開設科目
	中学校 一種	4単位	—	8	—	
合 計	高等学校 一種	32単位	—	—	32	
	中学校 一種	24単位	—	24	—	

(11) 栄 養 生活環境学部食物栄養学科（令和5年度以降入学者用）

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数		
		必修科目と単位数		必修
栄 養 に 係 る 教 育 に 関 す る 科 目	・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食生活に関する歴史的及び文化的事項	栄養教諭論	2	2
	・食に関する指導の方法に関する事項	食に関する指導論	2	2
	計4単位	計		4
合 計				4

(12) 家 庭 生活環境学部心身健康学科生活健康学コース（令和5年度入学者用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数				
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	家庭経営学 （家族関係 学及び家庭 経済学を含 む。）		家族関係論 生活経営学	2 2	4		
	被服学（被 服実習を含 む。）		衣環境学概論 被服学実習Ⅰ	2 1	3		被服学実習Ⅱ 被服生理学 衣環境管理学 生活界面化学 1 2 2 2 衣環境学実験 2
	食物学（栄 養学、食品 学及び調理 実習を含 む。）		食物科学概論 （栄養学、食品学 を含む。） 調理学実習 食環境論	2 1 2	5		食健康論 栄養学実験 生活健康学基礎実験 2 2 2
	(中)住居学 (高)住居学		住環境学概論	2	2		環境人間工学 2
	(中)保育学 (高)保育学		育児学	2	2		発達臨床心理学 （発達心理学） 2
							家庭機械・家庭電気 ・情報処理(高校のみ) 2
	計20単位		計		16	16	
大学が 独自に 設定す る科目	高等学 校一種	12 単位	—		—	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請にお いて利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位 まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目
	中学校 一種	4 単位	—		8	—	
合計	高等学 校一種	32 単位	—		—	32	
	中学校 一種	24 単位	—		24	—	

家 庭 生活環境学部心身健康学科生活健康学コース（令和6年度入学者用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数				
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数
教科 に 関 する 専 門 的 事 項	家庭経営学 （家族関係 学及び家庭 経済学を含 む。）		家族関係論 生活経営学	2 2	4		
	被服学（被 服実習を含 む。）		衣環境学概論 被服実習Ⅰ	2 1	3		被服学実習Ⅱ 被服生理学 衣環境管理学 生活界面化学 1 2 2 2
	食物学（栄 養学、食品 学及び調理 実習を含 む。）		食物科学概論 （栄養学、食品学 を含む。） 調理学実習 食環境論	2 1 2	5		食健康論 栄養学実験 生活健康学基礎実験 2 2 2
	(中)住居学 (高)住居学		住環境学概論	2	2		環境人間工学 2
	(中)保育学 (高)保育学		育児学	2	2		発達臨床心理学 （発達心理学） 2
	計20単位		計		16	16	
	大学が 独自に 設定す る科目	高等学 校一種 12 単位	—		—	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請にお いて利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位 まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目
合計	高等学 校一種 32 単位	—	—		—	32	
	中学校 一種 24 単位	—	—		24	—	

家 庭 生活環境学部心身健康学科生活健康学コース （令和7年度以降入学者用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数							
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数			
教科 に 関 す る 専 門 的 事 項	家庭経営学 （家族関係 学及び家庭 経済学を含 む。）		家族関係論 生活経営学	2 2		4				
	被服学（被 服実習を含 む。）		衣環境学概論 被服学実習Ⅰ	2 1		3	被服学実習Ⅱ 被服生理学 衣環境管理学 生活界面化学	1 2 2 2	生活健康学実験Ⅲ	2
	食物学（栄 養学、食品 学及び調理 実習を含 む。）		食物科学概論 （栄養学、食品学 を含む。） 調理学実習 食環境論	2 1 2		5	食健康論 生活健康学実験Ⅱ	2 2		
	(中)住居学 (高)住居学		住環境学概論	2		2	環境人間工学	2		
	(中)保育学 (高)保育学		育児学	2		2	発達臨床心理学 （発達心理学）	2		
	計20単位		計		16	16				
	大学が 独自に 設定す る科目	高等学 校一種	12 単位	—		—	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請にお いて利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位 まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目		
中学校 一種		4 単位	—		8	—				
合計	高等学 校一種	32 単位	—		—	32				
	中学校 一種	24 単位	—		24	—				

(13) 保健体育 生活環境学部心身健康学科スポーツ健康科学コース (令和5年度以降入学用)

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数					
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数	
教科に 関する 専門的 事項	体育実技	身体表現実習	1	6				
		基礎運動実習	1					
		個人スポーツ実習B	1					
		ボディワーク実習	1					
		シーズンスポーツ実習・夏	1					
		武道実習	1					
		個人スポーツ実習A	1	1				
		チームスポーツ実習A	1					
		チームスポーツ実習B	1					
	「体育原理、 体育心理学、 体育経営管 理学、体育 社会学、体 育史」及び 運動学（運 動方法学を 含む。）	スポーツ心理学 （体育心理学を含む。）	2	8	体育・スポーツ史 （体育史を含む） スポーツ法学 （体育経営管理学を含む。）	2	2	
		体育・スポーツ社会学 （体育社会学を含む。）	2					
		身体運動制御論 （運動学（運動方法学 を含む））	2					
身体コミュニケーション論 （運動学（運動方法学 を含む））		2						
生理学（運 動生理学を 含む。）		2						
衛生学及び 公衆衛生学	スポーツ精神生理学 （運動生理学を含む。）	2	4	スポーツ生理学 （運動生理学を含む）	2			
	人体生理学	2						
学校保健（小 児保健、精 神保健、学 校安全及び 救急処置を 含む。）	衛生・公衆衛生学	2	4					
	運動医学論	2						
	学校保健 （小児保健、精神保 健、学校安全及び救 急処置を含む）	2	2					
計20単位	計	25						
大学が 独自に 設定す る科目	高等学校一 種	12 単位	—	—	7	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び 右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目		
	中学校一 種	4 単位	—	—	—			
合計	高等学校一 種	32 単位	—	—	32			
	中学校一 種	24 単位	—	25	—			

(14) 家 庭 生活環境学部住環境学科（令和5年度入学者用）

免許法上の科目 区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数					
		必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数	
教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	家庭経営学 （家族関係 学及び家庭 経済学を含 む。）	家族関係論 生活経営学 （家庭経済学を含む。）	2 2		4		
	被服学（被 服実習を含 む。）	衣環境学概論 被服学実習Ⅰ 被服学実習Ⅱ	2 1 1		4		
	食物学（栄 養学、食品 学及び調理 実習を含 む。）	食物科学概論 （栄養学、食品学を 含む。） 調理学実習 応用調理学実習	2 1 1		4		
	(中)住居学 (高)住居学	住環境学概論	2		2	住生活学 建築・住居史 建築・住宅論 建築環境学 空間デザイン学 建築計画学 地域居住学	2 2 2 2 2 2 2
	(中)保育学 (高)保育学	育児学	2		2		
						家庭機械・家庭電気 ・情報処理(高校のみ)	2
	計20単位	計		16	16		
大学が 独自に 設定す る科目	高等学校 12 校一種 単位	—		—	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において 利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践(高校のみ選択可) ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ(学校体験活動) ※ ・学校フィールド演習Ⅱ(学校インターンシップ) ※ ※奈良教育大学連携開設科目	
	中学校 4 校一種 単位	—		8	—		
合計	高等学校 32 校一種 単位	—		—	32		
	中学校 24 校一種 単位	—		24	—		

家 庭 生活環境学部住環境学科（令和6年度以降入学用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数				
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数
教科に 関する 専門的 事項	家庭経営学 （家族関係 学及び家庭 経済学を含 む。）		家族関係論 生活経営学 （家庭経済学を含む。）	2 2	4		
	被服学（被 服実習を含 む。）		衣環境学概論 被服学実習Ⅰ 被服学実習Ⅱ	2 1 1	4		
	食物学（栄 養学、食品 学及び調理 実習を含 む。）		食物科学概論 （栄養学、食品学を 含む。） 調理学実習 応用調理学実習	2 1 1	4		
	(中)住居学 (高)住居学		住環境学概論	2	2	住生活学 建築・住居史 建築・住宅論 建築環境学 空間デザイン学 建築計画学 地域居住学	2 2 2 2 2 2 2
						住環境造形実習 設計演習Ⅰ 設計演習Ⅱ 設計演習Ⅲ	2 3 3 3
	(中)保育学 (高)保育学		育児学	2			
	計20単位		計			16	16
					16	16	
大学が 独自に 設定す る科目	高等学 校一種	12 単位	—		—	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において 利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践(高校のみ選択可) ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目
	中学校 一種	4 単位	—		8	—	
合計	高等学 校一種	32 単位	—		—	32	
	中学校 一種	24 単位	—		24	—	

(15) 家 庭 生活環境学部文化情報学科生活文化学コース（令和5年度入学者用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数							
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数			
教科 に 関 する 専 門 的 事 項	家庭経営学 （家族関係 学及び家庭 経済学を含 む。）		家族関係論 生活経営学 （家庭経済学を含む。）	2 2		4	ジェンダー文化論 生活経済学 消費者法 生活経済学演習 家族援助法	2 2 2 2 2	生活の情報管理と システム ライフスタイルと法 消費者法演習 食と農の経済学	2 2 2 2 2
	被服学（被 服実習を含 む。）		衣環境学概論 被服学実習Ⅰ 被服学実習Ⅱ	2 1 1		4	服飾とジェンダー	2		
	食物学（栄 養学、食品 学及び調理 実習を含む。）		食物科学概論 （栄養学、食品学を 含む。） 調理学実習 応用調理学実習	2 1 1		4	食生活文化論	2		
	(中)住居学 (高)住居学		住環境学概論	2		2	住生活文化論	2		
	(中)保育学 (高)保育学		育児学	2		2				
							家庭機械・家庭電気 ・情報処理(高校のみ)	2		
	計20単位		計		16	16				
	大学が 独自に 設定す る科目	高等学 校一種	12 単位	—		—	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請にお いて利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位 まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目		
中学校 一種		4 単位	—		8	—				
合計	高等学 校一種	32 単位	—		—	32				
	中学校 一種	24 単位	—		24	—				

家 庭 生活環境学部文化情報学科生活文化学コース（令和6年度以降入学者用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数							
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数			
教科 に 関 する 専 門 的 事 項	家庭経営学 （家族関係 学及び家庭 経済学を含 む。）		家族関係論 生活経営学 （家庭経済学を含む。）	2 2		4	ジェンダー文化論 生活経済学 消費者法 生活経済学演習 家族援助法	2 2 2 2 2	生活の情報管理と システム ライフスタイルと法 消費者法演習 食と農の経済学	2 2 2 2
	被服学（被 服実習を含 む。）		衣環境学概論 被服学実習Ⅰ 被服学実習Ⅱ	2 1 1		4	服飾とジェンダー	2		
	食物学（栄 養学、食品 学及び調理 実習を含む。）		食物科学概論 （栄養学、食品学を 含む。） 調理学実習 応用調理学実習	2 1 1		4	食生活文化論	2		
	(中)住居学 (高)住居学		住環境学概論	2		2	住生活文化論	2		
	(中)保育学 (高)保育学		育児学	2		2				
	計20単位		計			16	16			
	大学が 独自に 設定す る科目	高等学 校一種	12 単位	—		—	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請にお いて利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位 まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）※ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）※ ※奈良教育大学連携開設科目		
中学校 一種		4 単位	—		8	—				
合計	高等学 校一種	32 単位	—		—	32				
	中学校 一種	24 単位	—		24	—				

(16) 情 報 生活環境学部文化情報学科生活情報通信科学コース (令和5年度以降入学用)

免許法上の科目区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数 (高等学校一種)			
			必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数
教科に関する専門的事項	情報社会 (職業に関する内容を含む。)・情報倫理	情報社会学	2	6		
		生活と情報倫理	2			
		情報と職業	2			
	コンピュータ及び情報処理	プログラミング言語Ⅰ	2	8	論理回路論 言語処理系論	2 2
		プログラミング言語演習	2			
		プログラミング言語Ⅱ	2			
		アルゴリズムとデータ構造	2			
	情報システム	データベース論	2	4	データベース演習 オペレーティングシステム論 (実習を含む)	2 2
		計算機アーキテクチャ論	2			
	情報通信ネットワーク	計算機ネットワーク	2	2	ソフトウェア工学概論	2
	マルチメディア表現及び技術	ソーシャルコンピューティング論	2	2	パターン認識 ヒューマンインタフェイス概論	2 2
	計20単位		必修科目と単位数		22	
大学が独自に設定する科目	高等学校一種	12単位	—		10	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ・道徳教育の理論と実践 ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ (学校体験活動) ※ ・学校フィールド演習Ⅱ (学校インターンシップ) ※ ※奈良教育大学連携開設科目
合計	高等学校一種	32単位	—		32	

(17) 小学校（文学部人間科学科子ども教育専修プログラム・令和5・6年度入学者用）

免許法上の科目 区分と単位数		本学の開講科目における担当科目と単位数（小学校一種）			
		科 目 名	単位	必修	備 考
教科に関する専門的事項	教科の指導法とあわせて 30	国語	2	8	文学部子ども教育専修プログラム 専門教育科目
		社会	2		
		算数	2		
		理科	2		
		生活	2		
		英語	2		
				2	
大学が独自に設定する科目	2	哲学概論	2	2	文学部専門科目 （学部共通）
		倫理学概論	2		
		教育学概論	2		
		教育史概論	2		
		音楽概論	2		
		身体文化学概論	2		
		社会・集団・家族心理学	2		
		発達心理学	2		文学部専門科目 （学科共通）
		哲学特殊研究	2		
		倫理学特殊研究	2		
		子ども史特殊研究	2		
		音楽と子ども特殊研究	2		
		子どもメディア文化論特殊研究	2		
		障害者・障害児心理学	2		
		知覚・認知心理学	2		
		発達心理学特殊研究	2		
		学校フィールド演習Ⅰ(学校体験活動)	1		奈良教育大学連携開設科目
		学校フィールド演習Ⅱ(学校インターンシップ)	1		

小学校（文学部人間科学科子ども教育専修プログラム・令和7年度以降入学者用）

免許法上の科目 区分と単位数		本学の開講科目における担当科目と単位数（小学校一種）			
		科 目 名	単位	必修	備 考
教科に関する専門的事項	教科の指導法とあわせて 30	国語	2	8	文学部子ども教育専修プログラム 専門教育科目
		社会	2		
		算数	2		
		理科	2		
		生活	2		
		英語	2		
				2	
大学が独自に設定する科目	2	哲学概論	2	2	文学部専門科目 （学部共通）
		倫理学概論	2		
		教育学概論	2		
		教育史概論	2		
		音楽概論	2		
		身体文化学概論	2		
		社会・集団・家族心理学	2		
		発達心理学	2		文学部専門科目 （学科共通）
		哲学特殊研究	2		
		倫理学特殊研究	2		
		子ども史特殊研究	2		
		音楽と子ども特殊研究	2		
		障害者・障害児心理学	2		
		知覚・認知心理学	2		
		発達心理学特殊研究	2		
		学校フィールド演習Ⅰ(学校体験活動)	1		奈良教育大学連携開設科目
		学校フィールド演習Ⅱ(学校インターンシップ)	1		

(18) 幼稚園（文学部人間科学科子ども教育専修プログラム・令和5・6年度入学者用）

免許法上の科目 区分と単位数		本学の開講科目における担当科目と単位数（小学校一種）			
		科 目 名	単位	必修	備 考
教科に関する専門 的事項	教科の 指導法と あわせて 16	健康	1	4	文学部子ども教育 専修プログラム 専門教育科目
		人間関係	1		
		環境	1		
		言葉	1		
		表現	1		
大学が独 自に設定 する科目	14	哲学概論	2	14	文学部専門科目 （学部共通）
		倫理学概論	2		
		教育学概論	2		
		教育史概論	2		
		音楽概論	2		
		身体文化学概論	2		
		社会・集団・家族心理学	2		
		発達心理学	2		文学部専門科目 （学科共通）
		哲学特殊研究	2		
		倫理学特殊研究	2		
		子ども史特殊研究	2		
		音楽と子ども特殊研究	2		
		子どもメディア文化論特殊研究	2		
		障害者・障害児心理学	2		
		知覚・認知心理学	2		
		発達心理学特殊研究	2		
		学校フィールド演習Ⅰ(学校体験活動)	1		奈良教育大学連携開設科目
		学校フィールド演習Ⅱ(学校インターンシップ)	1		

幼稚園（文学部人間科学科子ども教育専修プログラム・令和7年度以降入学者用）

免許法上の科目 区分と単位数		本学の開講科目における担当科目と単位数（小学校一種）			
		科 目 名	単位	必修	備 考
教科に関する専門 的事項	教科の 指導法と あわせて 16	健康	1	4	文学部子ども教育 専修プログラム 専門教育科目
		人間関係	1		
		環境	1		
		言葉	1		
		表現	1		
大学が独 自に設定 する科目	14	哲学概論	2	14	文学部専門科目 （学部共通）
		倫理学概論	2		
		教育学概論	2		
		教育史概論	2		
		音楽概論	2		
		身体文化学概論	2		
		社会・集団・家族心理学	2		文学部専門科目 （学科共通）
		発達心理学	2		
		哲学特殊研究	2		
		倫理学特殊研究	2		
		子ども史特殊研究	2		
		音楽と子ども特殊研究	2		
		障害者・障害児心理学	2		
		知覚・認知心理学	2		
		発達心理学特殊研究	2		
		学校フィールド演習Ⅰ(学校体験活動)	1		奈良教育大学連携開設科目
		学校フィールド演習Ⅱ(学校インターンシップ)	1		

(7-4) 二種免許状について（令和5年度以降入学者）

修得必要最低単位数は表Ⅵ－2－2「本学で取得できる免許状の種類、基礎資格及び修得必要最低単位数」（125ページ）に記載のとおりですが、以下のことに注意して履修してください。

■ 中学校二種免許状

① 教職科目について

「教育の基礎的理解に関する科目」および「道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の各群については、一種免許状と同一の科目を履修してください。

「教科の指導法」については、各教科の「教科教育法Ⅱ」及び「教科教育法Ⅳ」（「保健体育」は「保健」及び「体育」それぞれの「教科教育法Ⅱ」）計4単位を履修してください。

② 教科科目について

教科ごとに必要な必修科目を必ず含んで履修してください。

■ 小学校二種免許状

① 教職科目について

「教育の基礎的理解に関する科目」および「道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の各群については、一種免許状と同一の科目を履修してください。

「初等教科教育法（情報通信技術の活用を含む。）」については、音楽、図画工作及び体育の中の2科目以上を含む6科目（計12単位）以上を履修してください。

② 教科科目について

国語（書写を含む）、社会、算数、理科、生活、英語のうち、2科目（計4単位）以上を履修してください。

■ 幼稚園二種免許状

① 教職科目について

「教育の基礎的理解に関する科目」および「道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の各群については、一種免許状と同一の科目を履修してください。

「保育内容の指導法」については、「保育内容指導法〔総論〕〔人間関係〕〔環境〕〔言葉〕」の4科目（8単位）と、「保育内容指導法〔健康〕〔表現・造形分野〕〔表現・音楽分野〕」から2科目（2～3単位）までを含む計10単位以上を履修してください。

② 教科科目について

「領域に関する専門的事項〔健康〕〔人間関係〕〔環境〕〔言葉〕〔表現〕」のうち、2科目（2単位）以上を履修してください。

■ 栄養教諭二種免許状

栄養教諭二種免許状を取得する場合は、栄養教諭一種免許状を取得する場合と同一の履修をする必要があります。具体的には、「栄養に係る教育に関する科目」4単位と「教育の基礎的理解に関する科目等」21単位を履修しなければなりません。

二種免許状を取得希望の学生についても、教育実習Ⅰの履修にあたって「(4) 教育実習について」（119ページ）で記載のと通りの履修条件を満たしていることが必要となりますので、注意してください。